

令和6年度 第4回「アレコレ住まいのかたり場」 座談会を開催しました！

【日 時】 令和7年1月7日(火)
13:30~15:00

【場 所】 倉永 神屋原公民館

【参加者】 神屋原サロンのみなさん
8名

【講 師】 一般社団法人 全国古民家再生協会
井上静夫 氏
一般社団法人 住教育推進機構
山城京子 氏



【内 容】 ・講師2名による進行でカードゲームをしながら、4名二班になって「家」に関するアレコレについて語り合いました♪
・ありあけ不動産ネット協同組合の川添理事長からは「空き家・空き地相談窓口」の紹介もしていただきました！

【カードゲームのルール】

- ・配られた赤、青、黄のカードの中から質問を選択します。
(答えたくないカードは選ばなくてよい)
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。
(選択肢がある場合はその中から選ぶ)
- ・話を広げましょう。
(アドバイスなども聞く)
- ・否定はしません。
(他人の意見を聞く)



質問. 老後も今の家に住み続けますか？

(意見)

Yesで満場一致！

- ・他に行くところがない。
- ・土地や金を持っているなら別かもしれないけど。
- ・なじみのある場所から離れたくない。
- ・19年前に自分で建てたばかり。
- ・体がまだ動くからこそ、環境のほうを変える勇氣はない。



質問. 家を手に入れるなら、新築一戸建て・マンション・中古住宅、どれ？

(意見)

- ・一度も住んだことがないから、理想はマンション♪
こどもたちが買ったけれど、部屋はコンパクトだし、まちなかで買い物なども色々便利そう。
- ・マンションは管理費がかかるのでは。
- ・自分の娘のマンションは隣の声(音)も聞こえず、まちが見えず窮屈なイメージだった。

**質問. 祖父母の家は
近くにありますか？**

(意見)

- ・今は誰もいない。
- ・星野村の実家は現役。
200年くらいになるかも？!
- ・祖父母が亡くなったあと
に建った家ならあるが。

**質問. 住まいの近くに
あってほしい施設は？**

(意見)

- ・運転免許を返納している人が多いので、歩いて行ける距離にスーパーがほしい！
- ・個人商店が昔はあったけれど・・・。
- ・公民館のように自由に使える所があるといい。
- ・自分の家なら活用してどうぞと言える。災害で被災した人に使ってもらうなど。

質問. 空き家は今後も増える？減る？

(意見)

- ・周囲5軒とも子どもは出て、高齢化している。
- ・地元に仕事がないから、若者が出て高齢者が残るの繰り返し。

(講師より)

・昔は、世代で順を追って住み継いでいたので空き家になることも少なかったですね。

こちら、満場一致
で「増える」の意見！

質問. 空き家が増えるとどうなる？

(意見)

- ・火災が心配。
- ・道が狭くて建替えもできないし、活用しようにも駐車場がない。
- ・山を所有しているが、男手がないと手入れも大変。
- ・近所の空き家の竹がすぐ伸びる。2年に一回くらい持ち主が伐採しているけれど、それでは足りないの、こちらで伐って敷地に置いている。
- ・空き家は、近所の者が辛抱するだけになっている！

建築士である井上先生の「自分が手がけた一戸建てが今、空き家になってさびしい思いをしています」というお話しに、80歳まで現役で左官業をなさっていた方も「わかります。自分が担当したところなら今でもしっかり覚えているから」と大きくうなづいていらっやったのが印象的でした。

また、神屋原公民館は30年ほど前に建て増したことで、小学校の窓をリサイクルしていることや、以前は管理人さんが住み込んでいたことなども教えてもらいました。

グループLINEも公民館メンバーで有効活用中とのこと！このような地域の親密さや温かさが、空家問題の予防等につながるといいな…と心から感じる座談会となりました。

神屋原サロンのみなさん、ご参加ありがとうございました♪



～「空き家・空き地 相談窓口」
より～

空き家は”個人”から”地域の問題”になってきています。

押印に応じてくれない兄弟がいるので相続登記の名義変更が進まず、売りに売れなくて…など様々な事情もあります。

窓口は2名体制。ちょっと遠いなという方は、お電話でもまずはご相談ください。